

6 - 4 1985年5月13日愛媛県南西部の地震

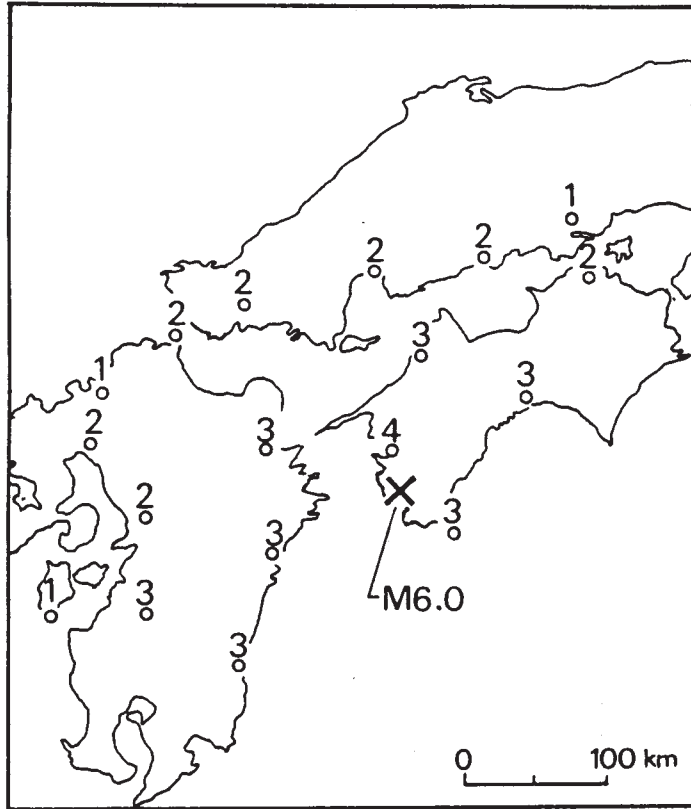
The Earthquake in the Southwestern Ehime Prefecture, May13, 1985

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

1985年5月13日19時41分に愛媛県南西部でM6.0の地震が発生した。震源は $32^{\circ}59'.7$ N, $132^{\circ}35'.2$ E, $H = 39\text{km}$, OT = 19時41分02.6秒と求められている。第1図にこの地震による震度分布を示す。宇和島で震度4が観測されたのをはじめ、四国、九州と中国地方の瀬戸内海側の各地で有感であった。第2図にメカニズム解を示す。主圧力軸が北北東-南南西の横ずれ断層型である。

第3図はこの地震の震源付近を中心とした左図に示す地域において、1926年以降発生した深さ60km以浅、M4.0以上の地震の時・空間分布である。今回地震が発生した付近から豊後水道南部にかけての地域では、1926年以降M5以上の地震は発生していない。特に1950年頃から1970年頃まではM4クラスの地震も非常に少なくなっている。豊後水道北部では1968年8月6日にM6.6の地震が起こっている。



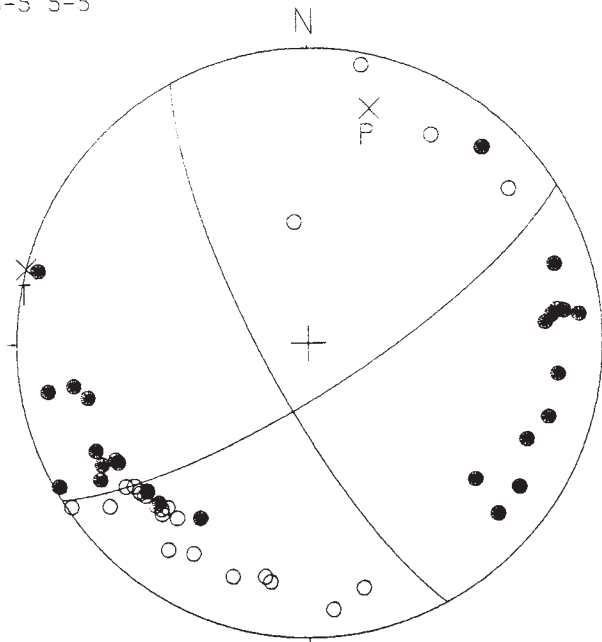
第1図 1985年5月13日愛媛県南西部の地震の震度分布

Fig. 1 Distribution of seismic intensities of the earthquake in the southwestern Ehime Prefecture, May 13, 1985.

```

13 MAY 1985 19 41
LCN.=132.35 LAT.=33 O H= 39 MAG.=6.0
DIP DIR.= 32 DIP=76 DIP DIR.=298 DIP=77
P AZ=346 IN=71 T AZ= 75 IN=90
TYPE NORMAL
S-S S-S

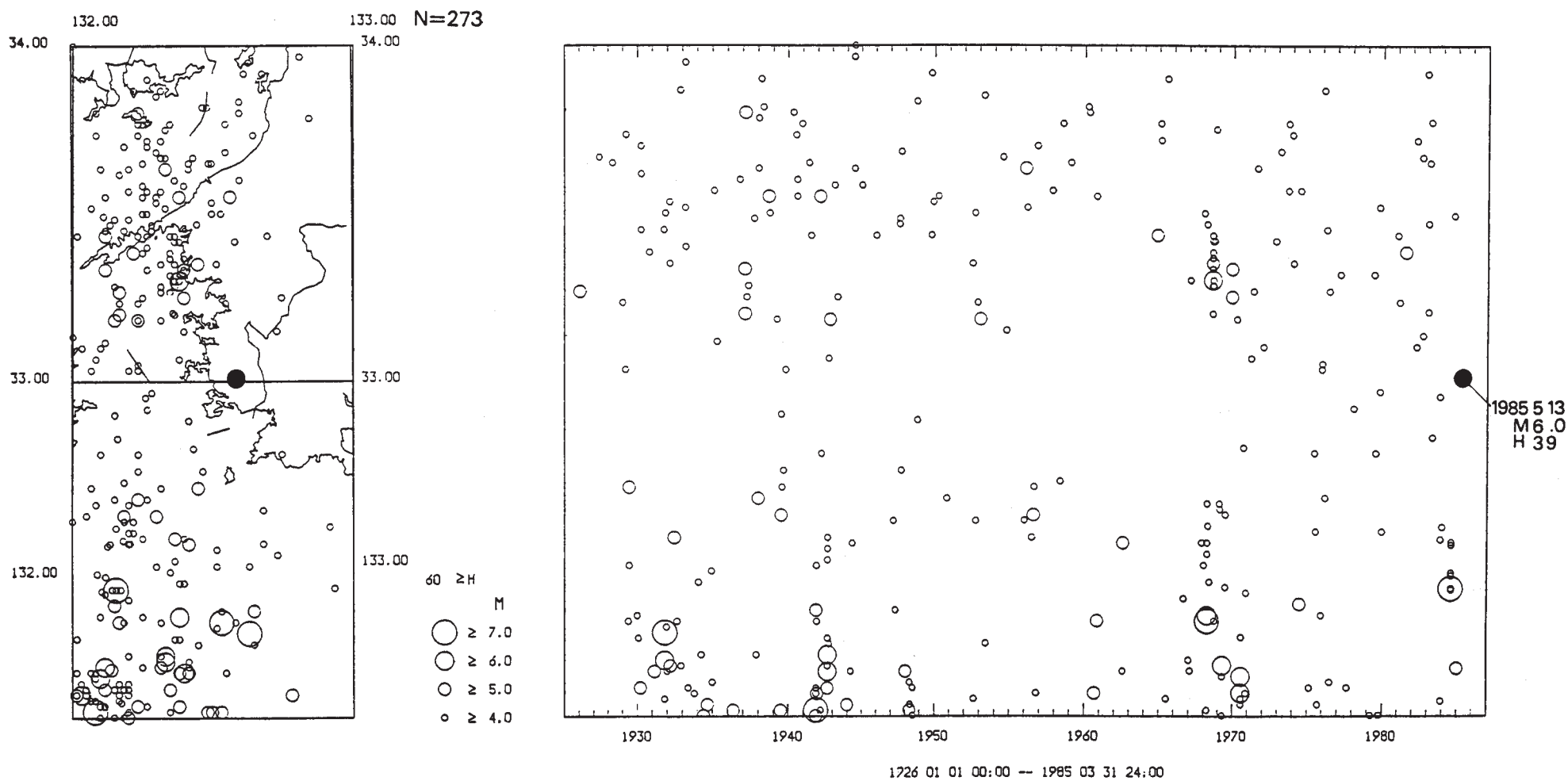
```



第2図 1985年5月13日愛媛県南西部の地震のメカニズム解（上半球投影）

Fig. 2 Focal mechanism of the earthquake in the southwestern Ehime Prefecture, May 13, 1985 (projected on the upper hemisphere)

● : up ○ : down



第3図 1926年～1985年の豊後水道付近の地震活動の時・空間分布 ($H \leq 60\text{km}$)

Fig. 3 Space-time plot of earthquakes which occurred near the Bungo Strait, 1926 - 1985 ($H \leq 60\text{ km}$).